



【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

中国・四国ブロック中国帰国者支援者研修会

7月26日(木)・27日(金)中国・四国ブロックの中国帰国者の支援者を対象に研修会を開催しました。1日目は2世の体験談を聞いた後、行政書士による在留管理制度の説明を受け、その後、日頃の活動で感じる問題について意見交換が行われました。帰国者への支援も支援者へのサポートも自治体によって非常に大きな差があるという現実が明らかになり、センターとしては自治体への働きかけ必要性を感じました。2日目の医療通訳養成講座では、現場で直面する課題が多く取りあげられ、熱心にメモを取る支援者の姿がみられました。今後もこのような研修会を継続したいと思います。



高知県 健康増進交流会・相談説明会

8月3日(金)高知県の帰国者を対象に在留管理制度説明会とスポーツ吹き矢体験会を開催しました。在留管理制度説明会では、質問が多く、関心の高さがうかがえました。スポーツ吹き矢体験会では、歩行が困難で杖を必要とする人も参加できました。また、屋内でするスポーツのため、天候や熱中症の心配をせずに楽しめました。大変好評だったので、今後も計画したいと思います。興味のある人はぜひ、参加してください。



広島市 異文化交流・盆踊り大会

8月12日(日)広島市立基町小学校グラウンドにて原爆慰霊祭と盆踊り大会が開催され、基町地域に住む帰国者が参加しました。毎年、浴衣の着付けでお世話になっている基町地区の女性会から気さくに声をかけていただき、うれしく思いました。会場では、浴衣を着て元気に走り回る子供を連れた2・3世の姿が多く見られ、センターの支援を離れたところでも、自然と地域に溶け込んでいる様子が印象的でした。



鳥取県 社会見学会・交流活動教室

9月22日(土・祝)鳥取県の帰国者を対象に社会見学会・交流活動教室を開催しました。岡山県倉敷市にある野崎家塩業歴史館では塩作り体験をしました。土鍋で海水を沸騰させている間にビデオで塩作りについて学びました。昔からの塩作りの様子を見ることで日本の歴史を垣間見ることができたと、帰国者たちは感動していました。30分ほど煮詰めてできあがった塩はみんなで分けて持ち帰りました。参加された2人の自立指導員と帰国者が普段から深く関わりあっておられる様子で参加者は談笑しながら和気藹々とした交流会となりました。



広島県廿日市市 避難所体験会

9月23日(日)広島県廿日市市で市民活動グループええじゃん主催の避難所体験会が開催され、広島県の帰国者が参加しました。昨年に続き2回目の参加なので、「去年も来てたよね～」と声をかけてくれる人もいました。段ボールで壁を作り、グループに分かれて避難場所を地図で確認しました。また、水を加えるだけでできる非常食を実際に作って試食するなど、さまざまな体験ができました。各グループに中国語通訳が配置されたおかげでスムーズに活動ができ、有意義な時間を過ごしました。



中四国地域の活動報告～山口県中国残留邦人等対策会議～

7月31日(火)山口県で中国残留邦人等対策会議が開催され、当センターの職員も参加しました。この会議は山口での帰国者支援の充実を図るために県庁が実施したもので、今回が第1回目でした。当日は関係市町の職員が、帰国者の持つ歴史的背景や支援制度の概要、近県での支援事例について学び、山口での支援体制構築に向けて情報交換をしました。山口県内は在住帰国者が数世帯という市町が多く、行政支援や行事などの実施が難しい現状があります。しかし、昨年からの支援相談員が県に設置されるなど支援体制が整ってきています。今後の山口県の取り組みに期待しています！

投稿 岡山県高島地区在住の帰国者からお手紙をいただきました。

6月1日(金)中国・四国中国帰国者支援・交流センターの職員がわざわざ岡山まで来てくれて、高島公民館で「新しい在留管理制度相談説明会」を開催してくれました。当日は岡山県各地域の帰国者が参加しました。研修会の中では講師が特に帰国者が注意すべきポイントに重点を置き、丁寧に解説してくれました。新しい在留管理制度の内容は4つの要点にまとめられ、特に申請手続きの方法や時期などは注意するよう繰り返されました。参加者からの疑問も丁寧に答えてくれました。

今回の説明会を通して、帰国者は新しい在留管理制度について明確な認識や理解を得ることができました。説明会は開催時期のタイミングが良く、説明はとてもわかりやすかったというのが参加者の一致した感想でした。このような活動を計画し、いつも帰国者の為になる事をしてくれた中国帰国者支援・交流センターの職員に感謝します。

お手紙ありがとうございます。
帰国者のみなさんのお役に立ててとても嬉しいです。(センター職員一同)

お願い

～センターからの送付物継続希望調査について～

センターでは住所を登録されている皆さまに機関誌「七色花」や交流会のお知らせなどをお送りしてまいりました。しかし、事業拡大に伴い経費節約の必要性も高まってきたことから、このたび、送付物が不要でない皆様への送付を中止させていただくこととなりました。センターからの各種送付物を引き続き希望される皆さまは、同封のハガキに必要事項を記入して、投函してください。切手を貼る必要はありません。なお、ハガキは「七色花」第30号～第32号の送付時、3回に同封しますが、1回お送りいただいた方は再度送っていただく必要はありません。ハガキ返信のない帰国者の皆さまには来年1月から各種送付を中止します。

10月・11月の予定

10月 3日	職場見学・交流会	〔広島県〕	11月1～2日	福岡定着促進センター出身者交流会	
10月 22日	健康増進交流会				〔中四国ブロック〕
		〔岡山県・広島県・香川県〕	11月10日	社会見学会	〔愛媛県〕
10月 27日	社会見学会	〔山口県〕	11月18日	異文化交流会	〔広島県〕

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありませ～す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

日本では10月を神無月(かんなづき)と言います。これは10月に日本中の神様が、島根県の出雲大社に集まって会議を開き、他の地域には神様が居なくなってしまうことからそう呼ばれてきたのです。反対に神様の集まる出雲地域では神在月(かみありづき)と呼ばれてきました。私は仕事上、何度か島根県に行ったことがありますが、まだ出雲大社を訪ねたことがありません。機会があったら出雲大社を拝観したいと思っています。(金山)